

<問い合わせ状況 2025 年 10 月>



院外処方せんに関連する問い合わせ

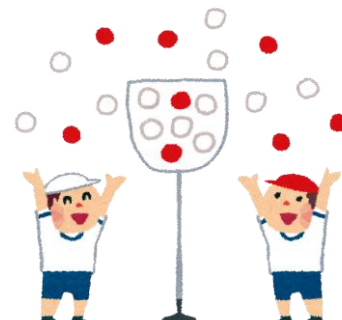
当院は院外処方せんを発行しています。処方内容などに疑義が生じた場合の窓口は薬剤師となっており、月に5~10件程度の問い合わせに対応しています。10月の疑義照会は11件で、内容は以下の通りでした。



- 用法用量確認
- 日数・残薬調整（4件）
- その他（6件）
 - ・隔日服用薬の処方日数について
 - ・入荷困難な薬について
 - ・副作用歴のある薬について
 - ・・・など

※このほか、プロトコールによる変更は5件ありました。

（同一成分薬への変更、日数変更、など）



薬に関する問い合わせ（患者・家族・施設より）

患者さんやご家族、他院や施設の方からの質問にも対応しています。

10月はお問い合わせが2件ありました。

- ・ナトリックス[®]錠は術前休薬が必要か
→不要
- ・亜鉛華軟膏の使用部位はどこか
→当院では使用していない



薬に関する問い合わせ（院内より）

他部署スタッフからの質問にもお答えしています。記録してあるDI室への問い合わせは、10月は6件でした（病棟で直接質問されたことは未記載の可能性あります）

◎がついたものについては回答をDIニュース No. 474 に記載しています。

- 亜鉛華軟膏の代替薬は？ → 保護剤としては白色ワセリン、消炎であればアズノール[®]軟膏など
- ◎モノヴァー[®]静注での蕁麻疹の副作用発現率は5%以上となっているが、詳しい確率は？好発時期があるか？
- 腎機能低下患者へのレボフロキサシン内服の用法用量は？
→ 対象患者のCCrは24。初日500mg、2日目より250mgを1日1回服用で
- ◎溶連菌にフルマリン[®]は有効か？
- ◎イグザレルト[®]錠2.5mgについて
- ◎ロケルマ[®]懸濁用散を中止してどのくらいの期間で効果消失するか

